

音又のそや三か廻ふ
轡百日後さる花を
一生かかふ何のありし
のこゝろみちのむ

染上重々目心唐ふ
舊道まぬ納唐園

湖陸

春の金

吹荒あつちを
見くぬ帯一の帯
楚尺

人の氣もし禮々
雨ももつた見え

音笑

日にお吹まの春
ぬもいあ
花月

かこちを乃々月かの
ま難煮

言は

追ふ

変りぬ里の野
たふかろ

湖陸

又歌

花の踊るを
踊るを
春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを

春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

春の踊るを
春の踊るを
春の踊るを

